

第4学年1組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成26年12月10日(水) 5校時 4年1組教室

2. 議題 「4-1 みんなでかがやけ集会をしよう」

3. 議題について

学級目標： かがやけ 4-1 楽しくキラリ かんがえる がんばる やさしく けじめをつける
--

(1) 児童の実態<男子11名、女子9名 計20名>

集会活動や、体験的な活動に意欲的に取り組むことが好きな子が多い。授業では、発言をしたり、発表をしたりと、自分の考えを積極的に伝えることができる。しかし、初めてのことや、わからないことがあると消極的になってしまう子もいる。今まで、話す時・聞く時の約束が守れず自由に発言をしてしまうことがあった。繰り返し約束を確認することで、発言のルールが身に付いてきた。

学級目標の「かがやけ」には一人一人が考えて行動すること、何事にも最後までがんばること、友だちに対して優しく接すること、時間のけじめをつけることなど、4年生になって意識していきたいことが目標に挙げられている。友だちのよいところを見つけようと、帰りの会のきらりさん紹介では、学級目標のような姿について認め合う姿が見られるようになった。

学級会は、10回行ってきている。今までは、「4年1組スタート集会」「〇〇さん退院おめでとう集会」「上原先生出産がんばってね集会」などを議題に取り上げ、集会に取り組んできた。

前回の「4-1 チャレンジ集会」では、色おにボールあてと、玉様ドッジボールをやることに決まった。工夫の仕方やお互いに協力しながら遊ぶことをめあてにして決まったことである。活動に向けて、プログラム作りや司会、始めの言葉、終わりの言葉などの分担を進んで行っていた。協力とチャレンジという言葉意識しながら準備をすることができた。しかし、集会の当日は、遊びと遊びの間や集まる時に勝手な行動をとってしまい、遊びの時間が短くなってしまった。ふり返りの場でも、自分たちに足りなかったことがわかったようで、「次は意識しましょう。」という意見が出た。準備までの時間や当日の活動の中では、めあてを意識したり協力できたことを分かち合ったりする発言が見られた。

「クラスで金魚を飼いたい」という思いをうけたミニ学級会では、これまでの経験から、「自分たちで責任をもって育てていきたい」とことと、「生き物を大切にしたいから死なせてしまうのがだめだと思う。」と、飼う飼わない両方の意見に分かれた。その際には、責任をもって取り組むことの大切さや失敗してしまった時の経験と合わせて、折り合いをつけながら、みんなで責任をもって飼って行こうと話がまとまった。今までは、みんなで楽しめることだけを考えていくことが多かったが、最近の学級会では、相手を思いやった意見が出されたり、これまでの経験を活かして話し合おうとしたりといった姿が見られるようになってきた。

(2) 議題選定の理由

本議題は、「学級目標に近づけるような集会がしたい」という思いがこもった議題がいくつか寄せられていた中から、計画委員会で相談し、議題を選定した。その際、「学級目標に近づくためには、もっと協力したりけじめをつけたりしながら集会ができるようにならないといけない。」といった意見が出された。

4年生になってからは、他の相手のために何かをしてあげたいという思いの集会が多くあった。本議題には、お互いに協力して取り組むということをめあてにして、みんなで学級目標を達成していきたいという子どもたちの思いが表れている。

今回は子どもたちが学級全体のことを考え、折り合いをつけながら話し合うことで、学級目標に近づくために協力できるような集会にしていくことをねらいとしたい。そのためにも一人一人がお互いのことを考え、自分もよくみんなもよい学級会になるように支援していきたい。

4. 評価規準

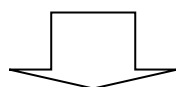
集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の生活上の問題に関心を持ち、他の児童と協力して意欲的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しい学級生活をつくるために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、協力し合って実践している。	みんなで楽しい学級生活をつくることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の計画的な進め方などについて理解している。

5. テーマとのかかわり

テーマ： 夢や希望をもち、よりよい人間関係を築く特別活動

サブテーマ： 自分もよく、みんなもよい

～聞き合い、折り合い、分かち合い～



中学年の目指す子ども像：

他者の考え方を受け止め、お互いのよさを認め合い、気持ちよく協力できる子

教師の思い

分かち合う姿を目指すためにも、話し合いで決まったことをみんなで協力しながら楽しく参加し、自分の役割に責任をもって取り組んでいる姿を見とり賞賛していきたい。そのためにも、十分にお互いの意見を出し合い、「みんなで決めて、実践してよかった。」「学級目標に近づくことができた。」という思いがもてるような学級会を目指していきたい。これまでも「お互いの意見を認め合うこと」「学級全体のことを考えること」「意見を折り合うこと」「めあてを意識すること」を、助言してきた。気持ちが一つになるような意見にまとまって、みんなが楽しんで取り組む姿を大切にする。そのことが、自主的実践的な態度の育成へとつながっていくと考えている。

学級会ではお互いの意見を認め合えるようにふり返りタイムをとり、事後の準備では、それぞれの役

割を帰りの会で確認するようにしていく。子どもたち同士が関わりをもち、「ぼくは〜だと思うけど、一緒にやらない?」「今までよりもみんなで考えた集会だと楽しいね。」など、みんなで協力することで達成できる喜びを感じられるような活動を行ってほしいと考えている。

テーマに迫るための手立て

【事前の活動】

○意見の集約と分類整理

議題に対しての意見を事前に集めることで、話合いの見通しをもつことができるため、安心して話合いに参加することができる。また、学級会における集める段階での時間を短縮することにもつながり、より充実した話合いにすることができる。

意見を掲示する際、子どもの思考が整理できるように同じような内容で意見を分類する。

○計画委員会のシミュレーション

計画委員会での打ち合わせの際には、できる限り自分たちで話合いを進めることができるように、進行の流れについて事前にシミュレーションをして十分に確認していく。特に次の点について確認する。

1つ目は、反対意見が多く出てきた時の対応である。その際には、めあてを意識したり、「自分たちはこれをしたい。」という思いが伝わったりするような発言を促せるように、司会グループと打ち合わせをする。2つ目は、発言が停滞した時の対応である。だれでも発言できるように、考える時間を確保したり、発言を促すような声をかけたりできるように、司会と計画をする。

【話合い活動】

○つながりのある話合い

つながりのある話合いにするためには、子どもたち相互でそれぞれの意見をしっかりと理解する必要があると考える。相手の意見の意図を理解するために、質問することの大切さを伝えている。提案者への質問に限らず、気になることや、わからないことが出てきた時には質問できるように声をかけて支援してきた。

○話合いの可視化

意見を短冊に書いたり、賛成・反対マークの色を変えたりするなど、今何を話しているのか、どこに意見が集中しているのかをわかりやすくする。また、短冊を移動させることで、意見の合体案や、折衷案などについても見てわかるよう、黒板を使用していく。

○教師の助言

出された意見の内容について、子どもたちが理解できていない時は、意見を出した子に説明するように促し、必要に応じて確認や補足をする。また、話合いがめあてからそれている時には、提案理由やめあてを確認するように助言する。

【事後の活動】

○集団決定の大切さを伝える

話し合って決めたことは、必ず実践することを伝え、実際に取り組んできた。役割分担も協力して行い、ルールや約束など決まったことに関しては、共通理解をして実践に取り組んでいけるように見守っ

ていく。そのために、活動している様子を確認し、めあてを意識して取り組めるように声をかけていく。

○分かち合いの場

決まったことをクラス全体で実践することで、集団としての満足感や達成感を得てほしいと考えている。そのために、準備の段階から一つ一つの役割を認め合えるように声をかけ、感想やふり返りの場では、実践を通して学んだことやクラス全体でよかったことが発表できるようにする。また、教師の話の中に集団として取り組んできたこと、次に考えるべきことを伝え、次の議題への意欲付けとしていく。

6. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	評価 (☆) と支援 (○)
1 1月27日 (木) 休み時間	計画委員会で、議題の選定をし、学級会のめあてや役割分担の計画を立てる。	○議題の内容を確認し、学級会に向けて統一したイメージをもてるようにする。 ○役割を確認し合い、学級会の進め方が理解できるようにする。 ○学級会コーナーに今回の内容を書く。 ☆学級会に向けて進んで準備をしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
1 2月3日(水) 帰りの会	クラスに議題と提案理由、めあてや学級会で話し合うことを伝える。	○一人一人が自分の考えをもてるようにする。 ○話し合いの柱を確認し、学級会へのイメージをもたせる。
1 2月5日(金) 特活タイム	自分のアイデアをアンケート用紙に書く。 一人一人、アイデアの説明ができるように準備をする。	○子どもの要望に応じて必要なものを用意する。 ☆めあてを意識したアイデアを考えている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
1 2月5日(金) 休み時間	計画委員会がアイデアの集約をし、精選をする。	○提案理由やめあてに沿った内容かどうか確認し、話し合いの始めの流れを確認する。
1 2月8日(月) 休み時間	計画委員会で学級会の流れを話し合う。 役割分担に従ってシミュレーションを行う。	○司会グループが学級会の場面をイメージできるように必要な助言をする。 ☆担任とともに学級会の進め方を考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

(2) 本時の活動

- ①ねらい お互いのことを考えながら、学級目標に近づけるように協力できる内容を決める。
- ②本時の視点 折り合い、分かち合いの姿はあったか。
相手の意見を受け止めた、つながりのある発言はあったか。
- ③児童の活動計画 別紙

④教師の指導計画

児童の活動	評価（☆）と支援（○）
<p>1. 始めの言葉</p> <p>2. 司会グループの紹介</p> <p>3. 議題、提案の理由、めあての確認</p> <p>議題：「4－1 みんなでかがやけ集会をしよう」</p> <p>提案理由：集会の遊びはうまくできたが、はじめをつけた行動や、協力する行動をとることが十分にできなかったと思います。だから、今回は協力することを意識して学級目標に近づくような集会をしたいと思いました。</p> <p>めあて：みんなで協力して活動できるような集会にするために話し合う。</p> <p>4. 決まっていることの確認</p> <p>決まっていること</p> <p>12月19日 6時間目</p> <p>教室 プログラム</p> <p>遊びの時間は25分</p> <p>5. 話し合い</p> <p>柱1 どのような遊びをするか 集めた意見を黒板に貼っておく。</p> <p>①わからない意見がある時には確認をする。</p> <p>②意見を比べ合う。 比べながら賛成、反対の意見を言う。</p> <p>③意見をまとめる。</p> <p>柱2 協力するための工夫はどうするのか</p> <p>①どのような工夫をすればよいか、意見を集める。</p> <p>②比べながら、よりよい方法を考える。</p> <p>③意見をまとめる。</p>	<p>○安心して会が進められるように、進行内容を事前に確認しておく。</p> <p>○司会原稿を用意する。</p> <p>☆司会グループとしての自分の役割を果たしている。（集団活動や生活への関心・意欲・態度）</p> <p>○話し合いのめあてを意識しながら話し合ったり、決定したりできるように必要に応じて声をかける。</p> <p>○司会が話し合いの進め方などでつまづいている時には、子どもたちに問いかけたり、助言したりする。</p> <p>☆友だちの意見を認めたり、うなずいて聞いたりしている。（集団の一員としての思考・判断・実践）</p> <p>○次のような時には、めあてや提案理由を意識して話し合ったり、決定できたりできるように全員に助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何について話しているのか分からなくなっている時 ・少数派の意見が大切にされていない時 ・解決案が出ていないのに、意見が決まってしまった時 ・反対意見ばかりが出ている時

<p>6. 決まったことの確認</p> <p>7. ふり返りタイム</p>	<p>○意見は助言をしながら分類整理する。</p> <p>○計画委員会で話し、相談したことはできるだけ自分たちで解決できるように見守る。</p> <p>○今日の話合いのよかったところ、自分の思いをふり返りカードに記入できるようにする。</p> <p>○実践に向けた活動を意識できるようなふり返りになるように声をかける。</p> <p>☆クラスで一つの活動を定めることの大切さについて理解している。</p> <p>(集団活動や生活についての知識・理解)</p>
<p>8. 先生の話</p>	<p>○司会グループの頑張っていた点、つながりのある発言、めあてを達成するための意見などを中心に賞賛する。</p> <p>○クラス全体で定めることができた点について褒め、実践への意欲付けを行う。</p>
<p>9. 終わりの言葉</p>	

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	評価 (☆) と支援 (○)
<p>朝の会</p> <p>休み時間</p> <p>帰りの会</p> <p>特活タイム</p>	<p>学級会で決まったことに向けて準備をする。分担や約束事についての確認が、さらに必要な場合には朝の会や帰りの会、休み時間などを有効に使い決定していく。</p>	<p>○決まった計画を教室に掲示し、本番に向けて取り組めるようにする。</p> <p>☆学級の一員として自己の役割を自覚し、実践している。</p> <p>(集団の一員としての思考・判断・実践)</p>
<p>12月19日</p> <p>(金)</p> <p>6時間目</p>	<p>「4-1 みんなでかがやけ集会をしよう」</p>	<p>○活動の中で協力したり、けじめをつけたて行動したりしている子を賞賛する。</p> <p>○ふり返りの場では、自分の態度をふり返りながら、友だちのよいところを認められるようにする。</p> <p>○先生の話では、実践を通しての子どもたちの育ちを、今後の活動に活かしていくことができるよう、子どもたちの望ましい姿や発言を賞賛する。</p> <p>☆活動の目的を考え、友だちと協力し責任をもって準備と実践をしている。</p> <p>(集団の一員としての思考・判断・実践)</p>

